

平成 29 年 10 月 25 日

報道機関 各位

和漢薬研究から健康づくりへ
認知機能改善を示すヤマモエキスの臨床研究

富山大学・和漢医薬学総合研究所・神経機能学分野
東田千尋（教授）ら

富山大学では機能強化研究プロジェクトの一つとして、「漢方薬による認知症予防への取り組みと地域活性化」を進めている。このプロジェクトでは、神経回路再構築活性を有する和漢薬に関する基礎研究の成果に基づき、和漢薬・漢方薬による、認知症をはじめとした高齢者疾患の予防と治療の実現を目指して、“和漢健康づくり”を合い言葉にして、薬理学研究、生薬学研究、臨床研究、地域啓発活動等、種々の取り組みを展開している。

本プロジェクトではかねてより、和漢薬成分のジオスゲニンがアルツハイマー病モデルマウスの記憶障害改善作用、および正常マウスの記憶能力向上作用を有することを発見してきたが、今回、その基礎研究に基づき実施した臨床研究で、ジオスゲニン含有ヤマモエキスによる健康人の認知機能向上効果を証明し、その成果を論文として発表した。

この研究は、富山大学・和漢医薬学総合研究所・神経機能学分野の東田千尋（教授）、楊熙蒙（大学院医学薬学教育部（薬学）博士課程1年）、門本笑花（研究支援員）、中田翔太郎（研究支援員）、金沢大学・国際基幹教育院・松井三枝（教授）、稲田祐奈（研究員）、富山大学・和漢医薬学総合研究所・漢方診断学分野の柴原直利（教授）、富山大学・医学部・和漢診療科の渡り英俊（助教）のグループにより行われた。

ジオスゲニンを豊富に含有するヤマモエキスをカプセル製剤化し、20歳から81歳までの健康人に対して3カ月間の投与を行い、服用前後の認知機能検査と血液検査を実施した。試験は、プラセボを用いたランダム化二重盲検クロスオーバー法により行われた。RBANSという認知試験を評価するスコア結果では、ヤマモエキス投与群で有意な認知機能向上が示された。被験者を年齢で分けて解析すると、中年以降の群で特にヤマモエキスの効果が認められた。

これらの成果は、学術雑誌 *Nutrients* において公開されました（公開日 2017年10月24日）。
については、下記にもとづき取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

論文タイトル

Diosgenin-Rich Yam Extract Enhances Cognitive Function: A Placebo-Controlled, Randomized, Double-Blind, Crossover Study of Healthy Adults.

by Chihiro Tohda, Ximeng Yang, Mie Matsui, Yuna Inada, Emika Kadomoto, Shotaro Nakada, Hidetoshi Watari and Naotoshi Shibahara

Nutrients 2017, 9(10), 1160; doi:10.3390/nu9101160 (registering DOI) - 24 October 2017

研究に関する取材・問合せ先

東田千尋 富山大学和漢医薬学総合研究所（神経機能学分野）教授

TEL: 076-434-7646

E-mail: chihiro@inm.u-toyama.ac.jp